公表版

沖縄支援機関
第1回 行政輸出＆インバウンド塾
（8/22）

株式会社プロダクツ・プラニング
株式会社Aglin

取組結果

～クロージング～

本日の目的

- なぜ輸出なのか？自分たちがどういう支援ができるのか？取り組む意義を理解する
- 価値観→ビジョン→目標・計画・実践のフローの考え方を学ぶ。
- インバウンドの必要性・沖縄の強みを再認識しつつ、輸出施策への連動の観点を持つ。

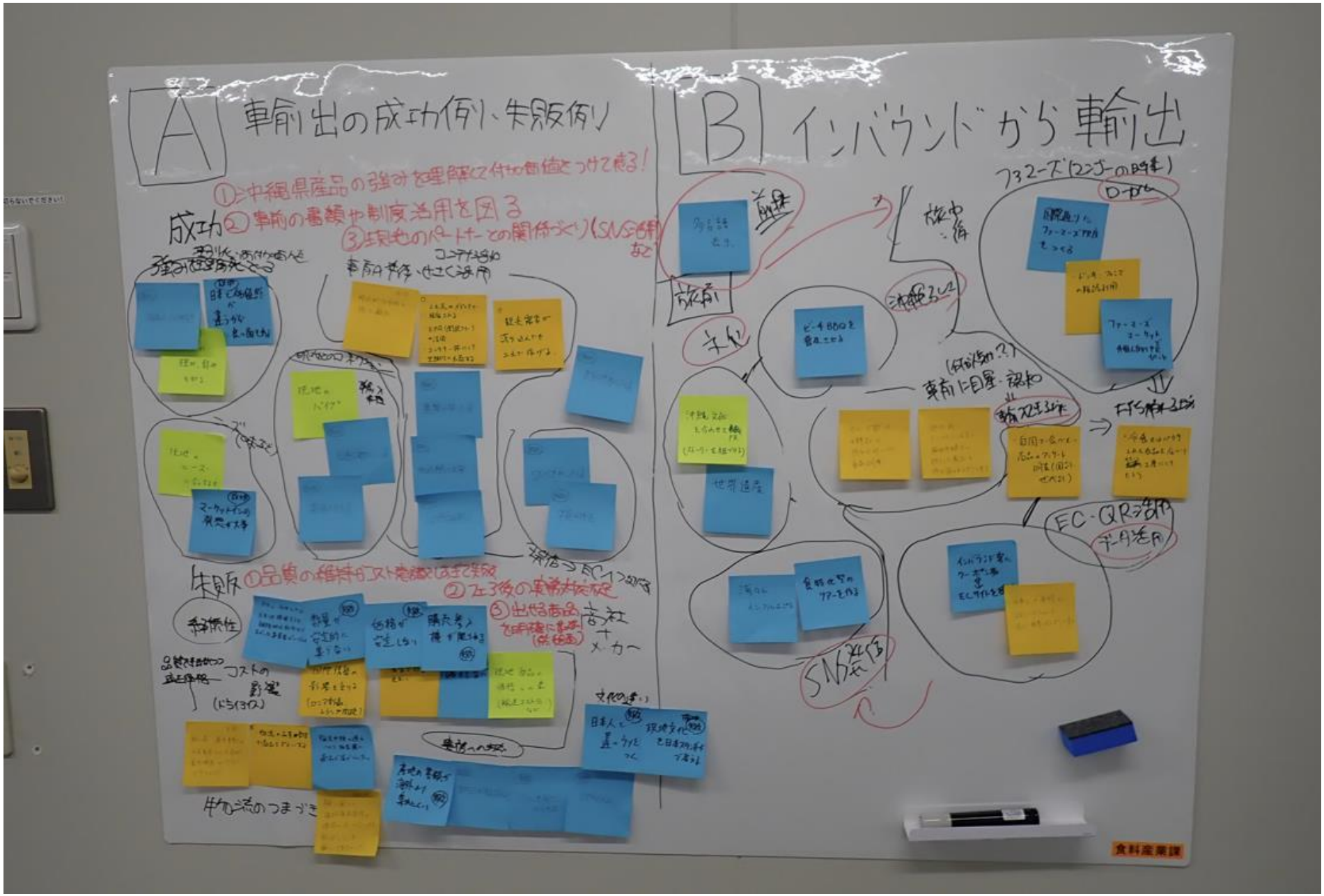
本日のワークを通じた感想

①今回のワークでの気づき・議論できたこと

②輸出支援に向けて今年度取り組んでいきたい目標
（各機関の施策に関係なく、個人的な目標でも可）

紙面回答＆後日メール回答でも構いません！

アウトプット　～グループA



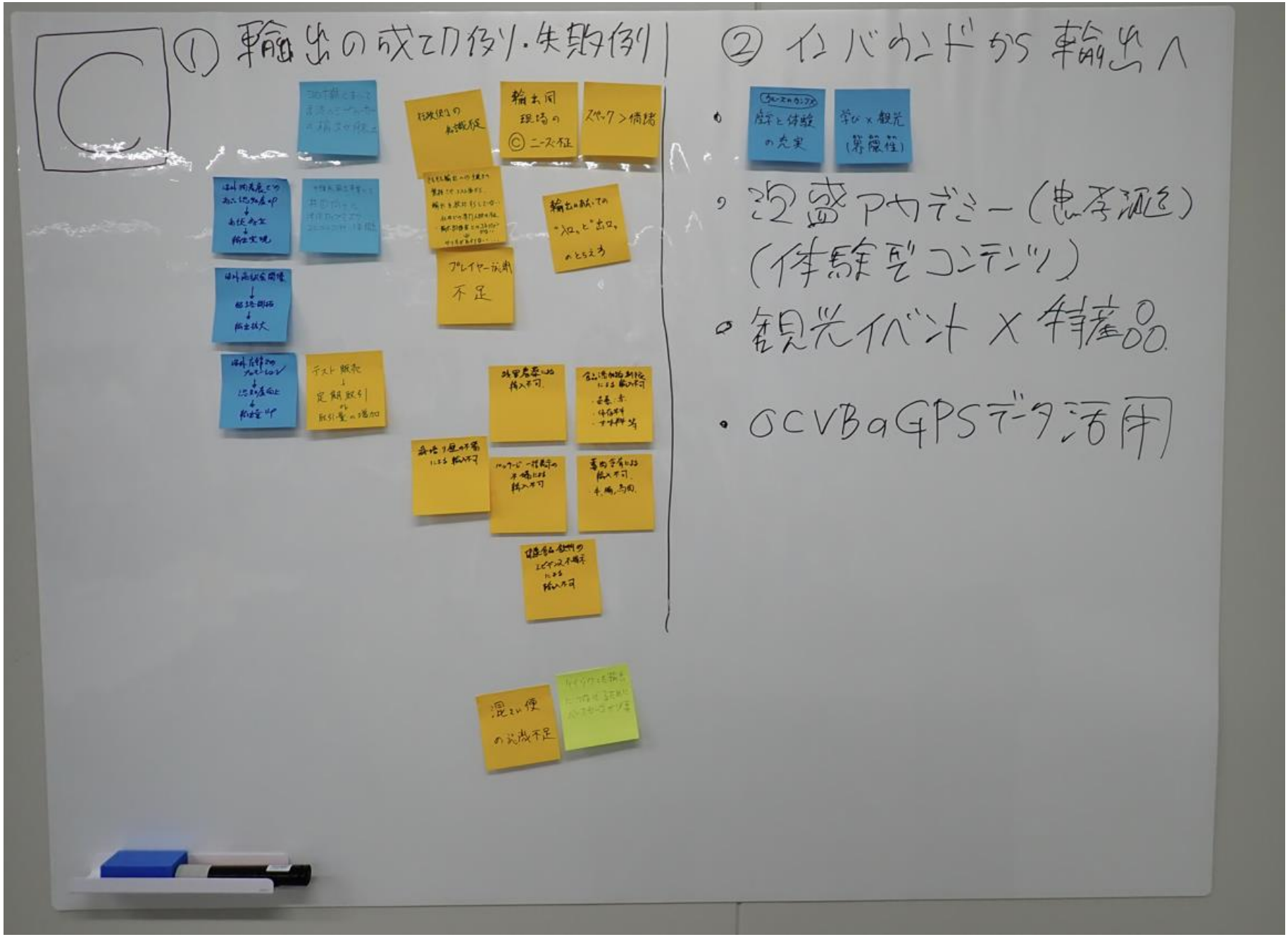
Copyright© 2025 Aglin. INC All rights reserved.

アウトプット　～グループB



Copyright© 2025 Aglin. INC All rights reserved.

アウトプット　～グループC



Copyright© 2025 Aglin. INC All rights reserved.

会場の様子（1/2）



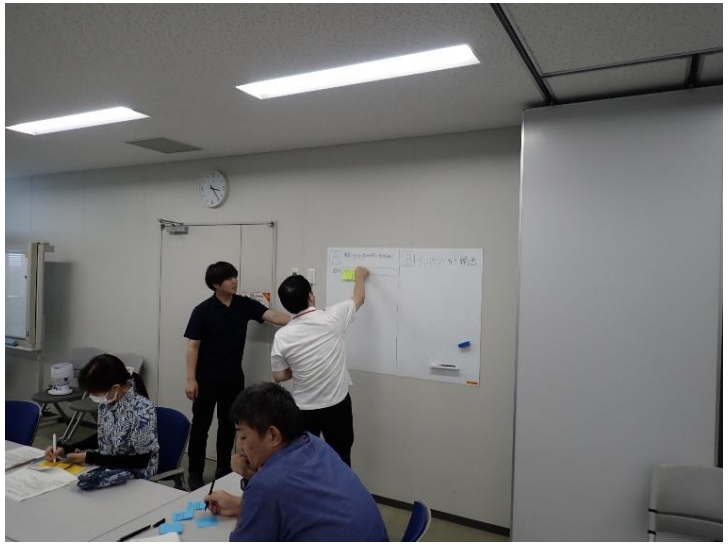





Copyright© 2025 Aglin. INC All rights reserved.

会場の様子（2/2）













Copyright© 2025 Aglin. INC All rights reserved.

参加者からの声（1/5）



- インバウンドを活用するために那覇空港での試食提供・プロモーション等の実施が効果的との話があった。今後の事業で取り組むことを検討したいと感じた。



- 実際に現場で輸出促進に携わっている人のお話が聞けてとてもよかった。思っていた以上に輸出をするのは難しいと思った。
- 問い合わせ等があった際には丁寧に対応したいと思った。



- 輸出に向けてはその第一歩として沖縄に来るインバウンドにより商品やブランドを知っていただくこと、認知度の向上が不可欠なのだと思った。
- 事業者に輸出の包括的なスキームをまず知ってもらい自社ブランドの輸出に向けて検討してもらえるように自分が勉強するのはもちろんのこと、各関係機関とのコネクション、ディスカッションを深めていきたい

Copyright© 2025 Aglin. INC All rights reserved.

参加者からの声（2/5）

- 様々な視点があり、とても勉強になった。多くのスペシャリストを集めて役割分担を明確にしてサポートに取り組むことが重要だと感じた。
- 地域には様々なコンテンツ・資源・商品があるので、輸出拡大支援に取り組みたい。雇用の拡大、沖縄の所得向上にもつなげたい。

- 弊市の農林水産としては特に輸出に対して、特化していない状況もあり知識やイメージがなかった。今回参加し、輸出の興味のある農家に対して少しでも支援できるよう意識が高まった。
- 農家さんに還元できるようにさらに勉強したい。

- 関係機関と連携強化することは今後の事務において重要であると感じた。引き続きチーム沖縄で取り組みたい。
- 弊市から牛肉・泡盛以外にも継続して輸出できるアイテムを増やしたい。

Copyright© 2025 Aglin. INC All rights reserved.

参加者からの声（3/5）



- グループワークに所属機関が異なるメンバーが集まることで普段感じないことや気付きを得られ大変面白かった。
- 物流が円滑に進むよう、海運・倉庫・輸出企業に課題や障壁を吸い上げて解決に向けて取り組んでいきたい。



- 輸出する際の付加価値のつけ方などアイデアが多く勉強になった。各セクションの方が参加しており、繋がりができた事もよかった。今年度より輸出業務に関わり、離島市町村の情報を知る機会がなかったので良かった。
- 今後は輸出量の0→1に取り組みたい



- たまたま集まったメンバーであったが、それぞれの業界と連携して「チーム沖縄」輸出に向けてプロモーションやターゲット獲得、モノを出すところまでのイメージがわいた。他機関で行っている支援事例は活用したい
- 事業者向けに目標明確化のためのサポートを行いたい。

Copyright© 2025 Aglin. INC All rights reserved.

参加者からの声（4/5）



- 各機関の皆様がそれぞれの立場で輸出を支援しようとしている。うまく連携できると良いと思った。インバウンドから輸出へと点ではなく戦で記憶に残ってもらう取り組みは大事だと思った。
- 対応する事業者が輸出までチャレンジしたくなるように後押ししたい。



- 輸出支援マップは情報の仕組みや考え方が可視化されており良いと感じた。事業を進めるうえで時期によってはタイムリーな情報に左右されることもあるが、一丁目一番地をしっかり作ることは事業のプレを押さえるうえでも大切だと思う。
- 予算執行をするうえで輸出振興にまつわる担当者会議などを行いたい。行政の情報もさることながら、各行政の施策の補完や連携などがとても必要だと感じている。



- 他機関の方の意見が聞けた点がよかった。また、輸出に関する考え方を整理できた。
- 実務担当ではないが知識を蓄えたい。

Copyright© 2025 Aglin. INC All rights reserved.

参加者からの声（5/5）



- 自身の業務以外の観点から輸出について考えることができ参考になった。
- ワークショップで挙げられた成功例・失敗例、インバウンドからの輸出のアイデアを参考に自身の業務でどのような支援ができるか考えたい。



- 各部署で貴重なプロモーション事例があった。それらを横展開できれば効率的な取り組みが可能になると思う。
- お互いの体験やノウハウを組み合わせて県産品の輸出拡大を図りたい。

Copyright© 2025 Aglin. INC All rights reserved.